

【部課名： 市長公室政策推進課 】

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
大阪・関西万博事業(政策推進課) (万博会場での催事)		大阪・関西万博への出展等を通じて、社会課題の解決に向けて官民連携・市民共創で進めてきた各種取組や魅力的な地域資源を市内外に発信する。			指標	総計の 現状値	R7実績値	大阪・関西万博への7回の出展等を通じて、社会課題の解決に向けた官民連携・市民共創の各種取組や、だんじり、盆踊り、産業等の魅力的な地域資源を、その関係する事業者・団体・市民等と共に市内外に発信した。また、ともに参画した市民等から、「多くの方に体験・関心いただけた」という声もあり、シビックブライドの醸成につながった。	大阪・関西万博が閉幕したため、その機会を前提とした情報発信・魅力向上を図る本事業は終了とする。今後は、官民連携・市民共創によってつくりあげた本市の大阪・関西万博関連事業の記録を、子々孫々に引き継ぎ、未来のまちづくりに活かしていけるよう、各事業をまとめた記念冊子を作製し、シビックブライド醸成に寄与する。
総合計画の位置づけ					魅力発信に関わる特設HPの閲覧数	5,500件	54,005件		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち								
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち								
		事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	0	0					
		R7決算見込額	36,419	1,865					
個別目標の 方向性	市の魅力を強力に発信し行ってみたい住みたいと思われるまちを目指します	R8予算額	0	0					

様式 1

事業名：大阪・関西万博事業
(万博会場)

地域再生計画区分

交流・連携・情報発信事業

健康で、安全・安心な暮らしと快適な住環境をつくる事業

寄附充当額：2,700,000円（令和 7 年度実績）

次年度の
方向性

大阪・関西万博の閉幕に伴い、

事業の大部分は終了

これまで行った関連事業をまとめた記念冊子を作製し、
シビックプライド醸成に寄与する。

結果・成果

万博来場者に「市の取組」と「地域資源」を“市の魅力”として、官民連携・市民共創でPRできた。
イベントに参加した市民（市内企業）等のシビックプライドの醸成に寄与した。

目 標

大阪・関西万博のインパクトを活用した

市が社会課題の解決に向けて取り組んできた官民連携・市民共創の取組を市内外に発信する。
泉大津市のだんじりや盆踊り・産業等の地域資源を、市内外に発信する。

取 組

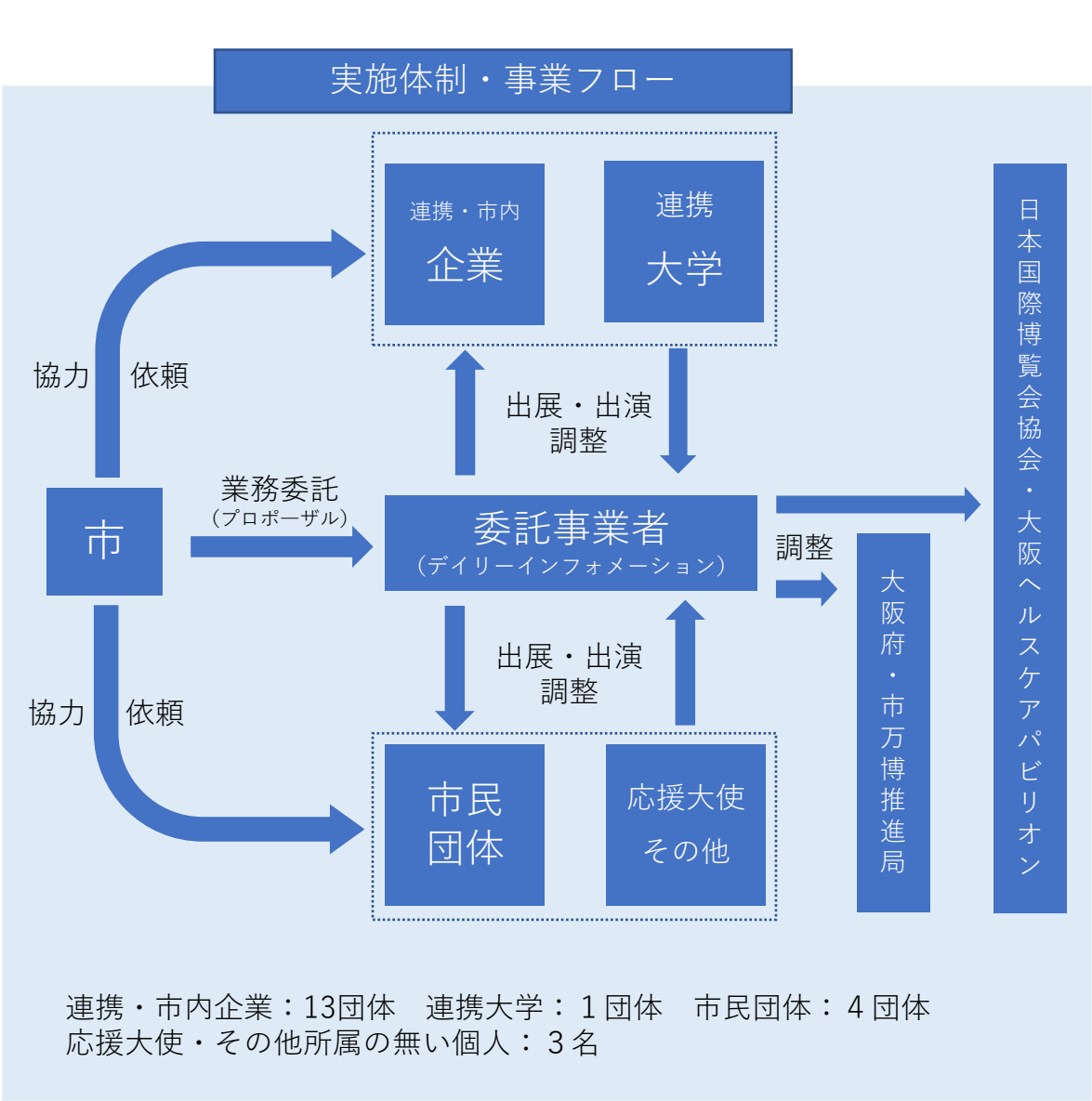
取組①

大阪・関西万博でのイベントを主催
(IZUMIOTSU WELL-BEING EXPO 2025)

取組②

大阪・関西万博で開催されるイベントへの出展等
(大阪ウィーク～春の陣～ ほか)

取組①概要：大阪・関西万博会場で市主催のイベント「IZUMIOTSU WELL-BEING EXPO 2025」を開催し、官民連携・市民共創で情報発信を行った。



イベント実施 (2025/5/17)

IZUMIOTSU WELL-BEING EXPO 2025

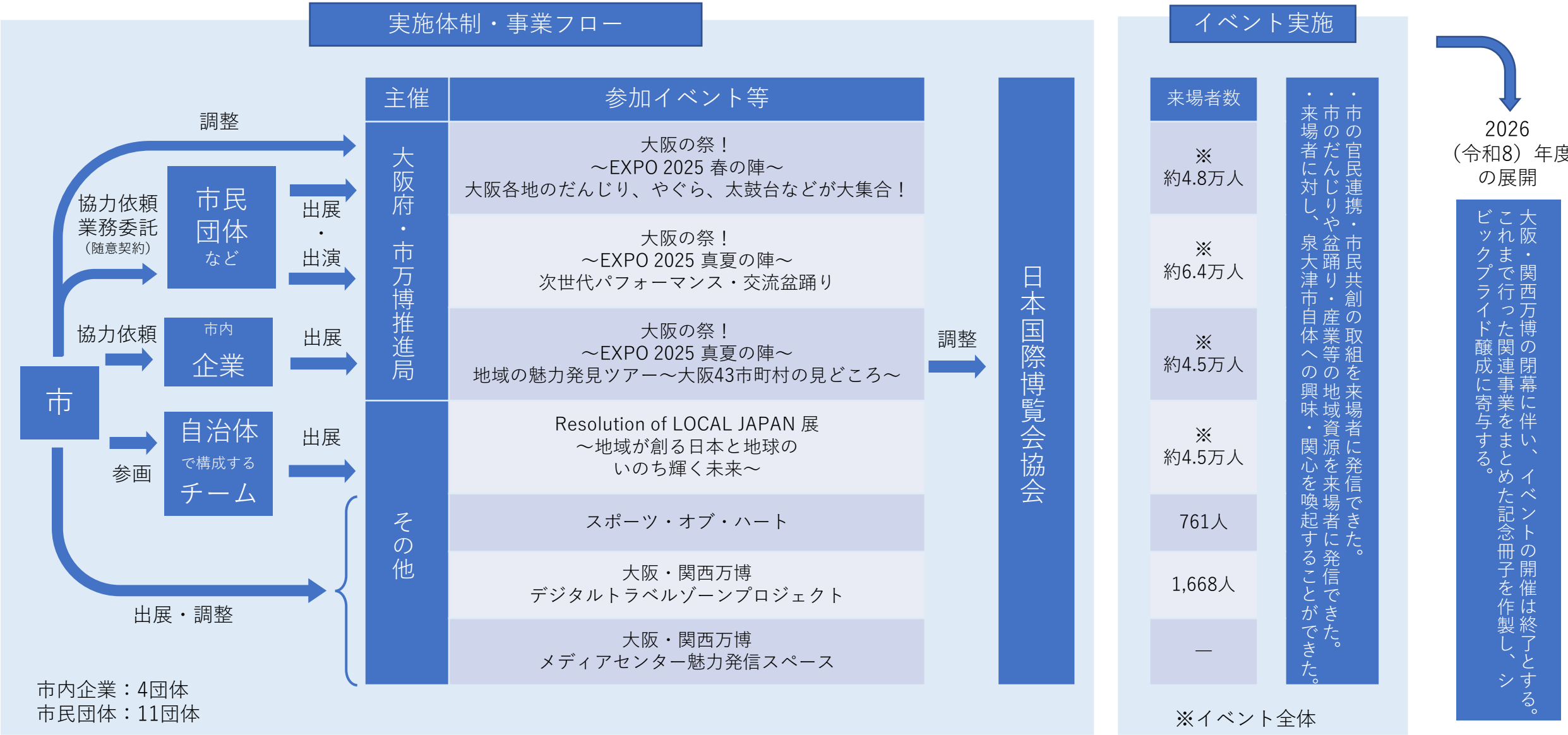
イベントの動画

会場	大阪・関西万博内 西ゲート側 ギャラリーWEST	大阪・関西万博内 東ゲート側 大阪ヘルスケア パビリオンリボーステージ
結果	来場者：3,225名	来場者：1,582名
成果	<ul style="list-style-type: none">・市の官民連携・市民共創の取組を来場者に発信できた。・市の盆踊り・産業等の地域資源を来場者に発信できた。・来場者に対し、泉大津市自体への興味・関心を喚起することができた。・アーカイブ動画等を連携・共創先に提供することで、市だけの発信にとどまらない発信効果の波及が見られた。・参画した市民等についてはシビックプライドの醸成につながった。	

2026（令和8）年度の展開

大阪・関西万博の閉幕に伴い、イベントの開催は終了とする。これまで行った関連事業をまとめた記念冊子を作製し、シビックプライド醸成に寄与する。

取組②概要：大阪・関西万博会場で様々な主体がイベントを開催する中、自治体が出展可能な機会を着実に捉え、官民連携・市民共創で情報発信を行った。



【部課名： 市長公室地域経済課 】

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
農業振興対策事業		市内全域が市街化区域であることから、都市農業の振興および営農改善のために必要な支援を行う。			指標	総計の現状値	R7実績値	厳しい農業環境の中、一定の作付面積の確保を図るとともに、休耕田にレンゲやコスモスを栽培し、都市景観の向上につながった。またJAいずみの主催の農業まつりにおいて、地域で生産された米や野菜の販売支援を行い、地産地消を推進するとともに、エコ農産物補助により、環境に配慮した農業を行う農家を支援することでエコ農産物認証に繋げることが出来た。加えて、R7年度から、新たにJAいずみのとの連携により、市内の農地を活用した有機農業の担い手育成を行い、今後の新規就農者及びエコ農産物の増が期待される。	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業振興対策についてJAいずみとの継続協議が必要である。
総合計画の位置づけ					大阪エコ農産物認証を受けた農産物が市内（学校給食等）で消費されている割合	0%	11.81%		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち				大阪エコ農産物認証件数	4件	6件		
個別目標	人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	1,036	820					
個別目標の方向性	地産地消の推進と安全安心な農水産物の生産維持・促進に取り組みます	R7決算見込額	1,661	920					
		R8予算額	2,257	820					

事業名：農業振興対策事業

地域再生計画区分
交流・連携・情報発信の推進事業
寄附充当額
400,000円（令和 7 年度実績）

次年度の
方向性

共同実施を明確化し、育成から農地マッチング・就農・販売まで一貫支援へ発展

結果・成果

受講者11名／座学・実技24回
生産緑地の有効活用／就農・農地貸借に向けた動きが具体化

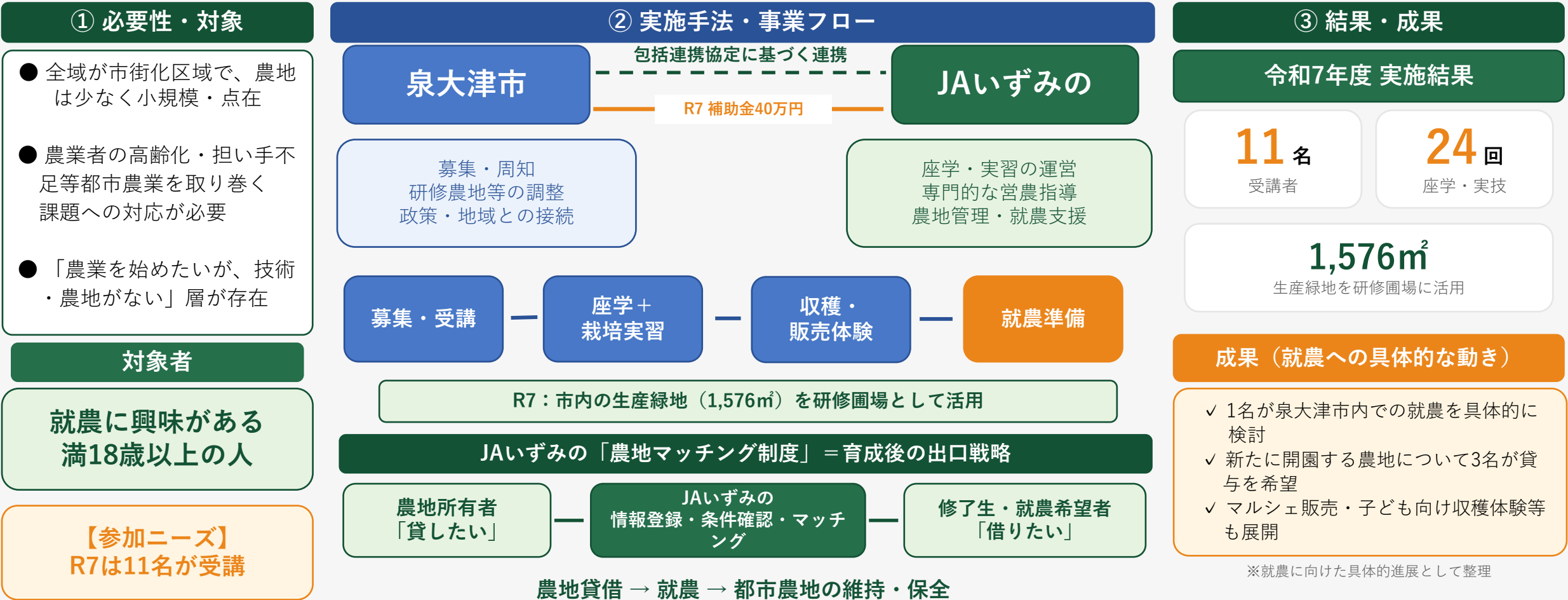
目標

新たな農業人材を育成し、市内農地との接続を通じて都市農地の維持・保全につなげる

取組

オーガニックアカデミー

取組概要： 農業従事者の高齢化・担い手不足等、都市農業を取り巻く課題に対応するため、JAいずみのと連携し、**有機農業の担い手を育成し、農地とのマッチングを通じて 就農・農地保全につなげる。**



【部課名：健康こども部こども育成課】

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
幼稚園給食ふりかけ購入事業		弁当給食である幼稚園給食にふりかけを提供することで栄養価の向上を図るとともに、主食の喫食率向上につなげ、こどもの健やかな成長の支援と残食削減をめざす。/ 弁当給食である幼稚園給食において、化学調味料や保存料、着色料不使用かつ天然国産素材にこだわった「体にやさしいだしふりかけ」を週2回提供する。			指標	総計の現状値	R7実績値	「体にやさしいだしふりかけ」を継続して提供することで、弁当給食で不足する栄養素を補うことができた。	今後は、公立保育所・認定こども園と統一した献立による給食へ移行する予定であり、ふりかけによる栄養補助は不要となることから、令和8年度途中で本事業は終了する予定。
総合計画の位置づけ									
基本目標									
個別目標		事業費（うち市負担額）【千円】							
個別目標の方向性		R6決算額	171	171					
		R7決算見込額	104	104					
		R8予算額	175	175					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
食育推進事業		<p>「食べることは生きること、作る力は生きる力」の理念のもと、給食やクッキングを通して食への興味・関心を育むこと。また、乳幼児期から和食や乾物など、日本の伝統的な食文化に触れることで、自ら選び、作り、食べる力の基礎を培うとともに、成長に必要な栄養をこどもの健やかな成長へ繋げること。/ 食育アドバイザー中塚由子氏指導のもと、主に下記①～③を行う。</p> <p>①にじいろクッキングの実施：公立就学前施設5歳児が五感を使いながら出汁をとるところから調理までを自ら行う給食体験。</p> <p>②きがるにクッキングの実施：公立就学前施設の保護者を対象とした給食調理体験で、和食や乾物の魅力や、家庭で取り入れやすい調理方法の指導に加え、保護者同士が子と離れて交流し、育児の悩みや日頃の思いを気軽に話せる場を提供。</p> <p>③給食レシピの考案：公立就学前施設用に、腰持ちがよく栄養価の高いおやつや、出汁や乾物を活用した和食メニューの給食レシピを考案。</p>			指標	総計の現状値	R7実績値	給食やクッキングを通じて、園児や保護者が、和食や乾物の良さを知ること、食に興味を持つきっかけづくりができたとともに、健康づくりの大切さを実感する機会を創出できた。	きがるにクッキングにおいては、令和7年度の参加者数が7園所計30人に留まっていることから、参加者増加に向け、効果的な周知手法や、より魅力ある事業実施方法等を検討する必要がある。
総合計画の位置づけ									
基本目標									
個別目標		事業費（うち市負担額）【千円】							
個別目標の方向性		R6決算額	50	50					
		R7決算見込額	650	650					
		R8予算額	650	650					

様式 1

事業名：幼稚園給食ふりかけ購入事業

地域再生計画区分

交流・連携・情報発信の推進事業

寄附充当額

103,871円（令和 7 年度実績）

次年度の
方向性

今後は、公立保育所・認定こども園と統一した献立による給食提供へ移行する予定（本事業は廃止予定）

結果・成果

継続して提供することで、ご飯をおいしく食べながら不足しがちな栄養素を補うことができた

目標

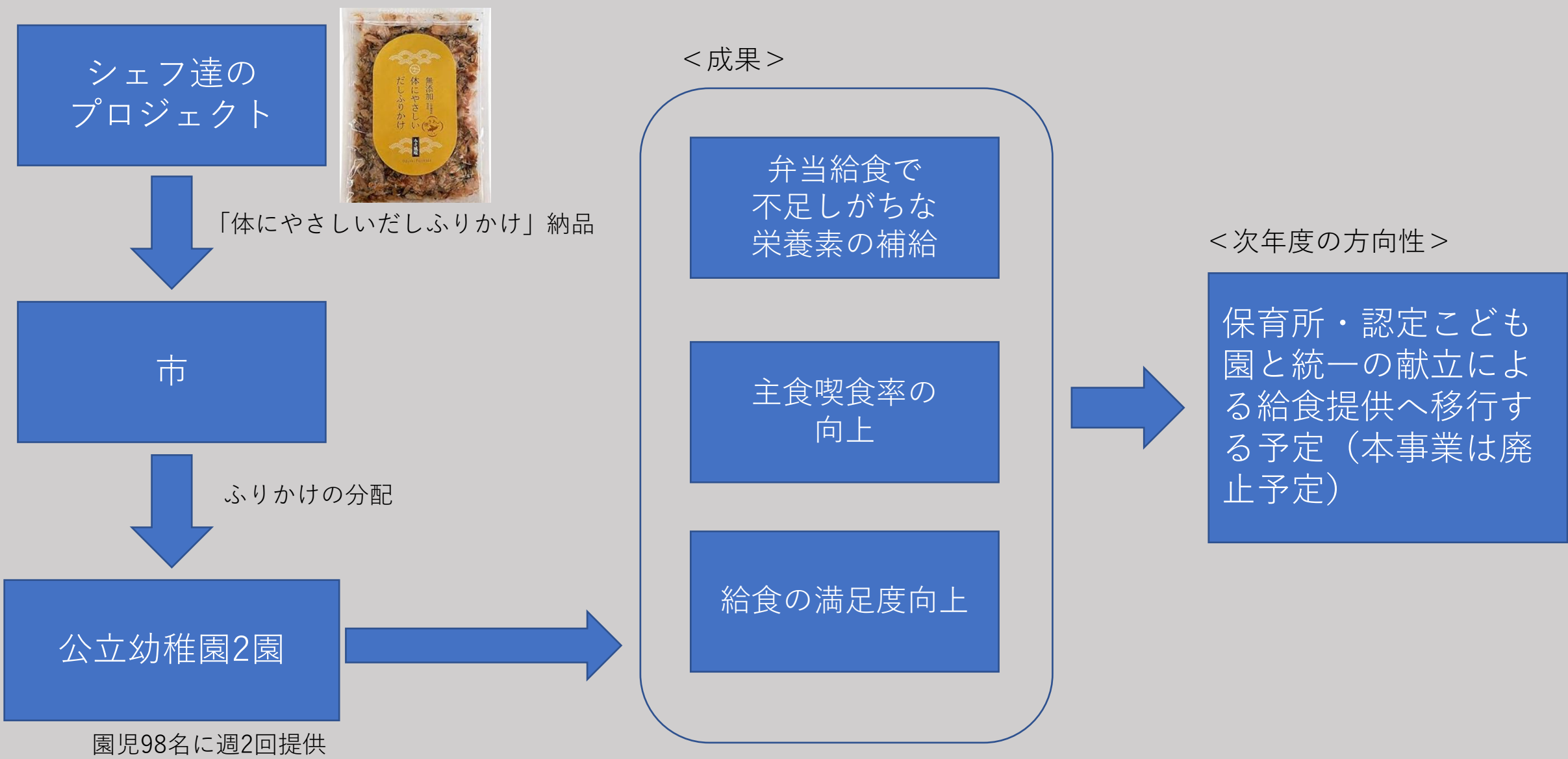
- ①弁当給食である幼稚園給食にふりかけを提供することで、栄養価の向上を図る
- ②主食の喫食率向上につなげ、こどもの健やかな成長を支援するとともに、残食削減を目指す

取組

- ①「体にやさしいだしふりかけ」の提供

様式 2

取組①概要【「体にやさしいだしふりかけ」の提供】：弁当給食である幼稚園給食において、化学調味料や保存料、着色料不使用かつ天然国産素材にこだわった「体にやさしいだしふりかけ」を週2回提供使用することで、弁当給食だけでは不足しがちな栄養素を補うとともに喫食率を向上させ、こどもの健やかな成長へと繋げる取り組み



様式 1

事業名：食育推進事業

地域再生計画区分

交流・連携・情報発信の推進事業

寄附充当額

650,000円（令和7年度実績）

次年度の
方向性

にじいろクッキング：引き続き5歳児に実施し、食への興味を育てる
きがるにクッキング：参加者増加に向けた効果的な周知や実施方法を検討する
給食用レシピの考案：引き続き行い、給食メニューの充実と、手作りおやつ提供回数の増加を図る

結果・成果

- ・給食やクッキングを通じ、五感を使って食材に触れることで、和食や乾物の良さを知り、食に興味を持つことができた
- ・食育アドバイザー考案のレシピを取り入れることで、腹持ちがよく、栄養価の高い給食やおやつを提供することができた

目標

「食べることは生きること、作る力は生きる力」の理念のもと、給食やクッキングを通して食への興味・関心を育む。また、乳幼児期から和食や乾物など、日本の伝統的な食文化に触れることで、自ら選び、作り、食べる力の基礎を培うとともに、成長に必要な栄養をこどもの健やかな成長へと繋げる。

取組

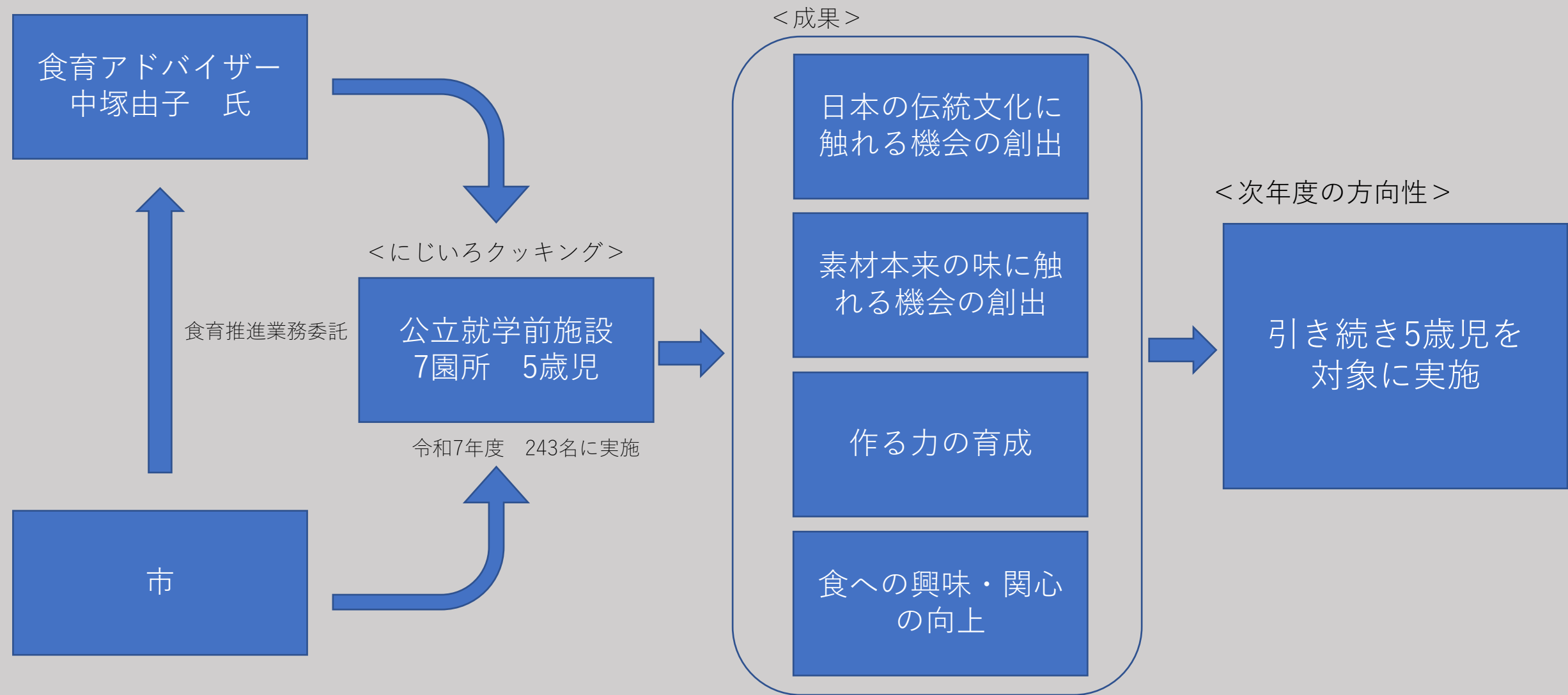
①にじいろ
クッキングの
実施

②きがるに
クッキングの
実施

③給食用レシピ
の考案

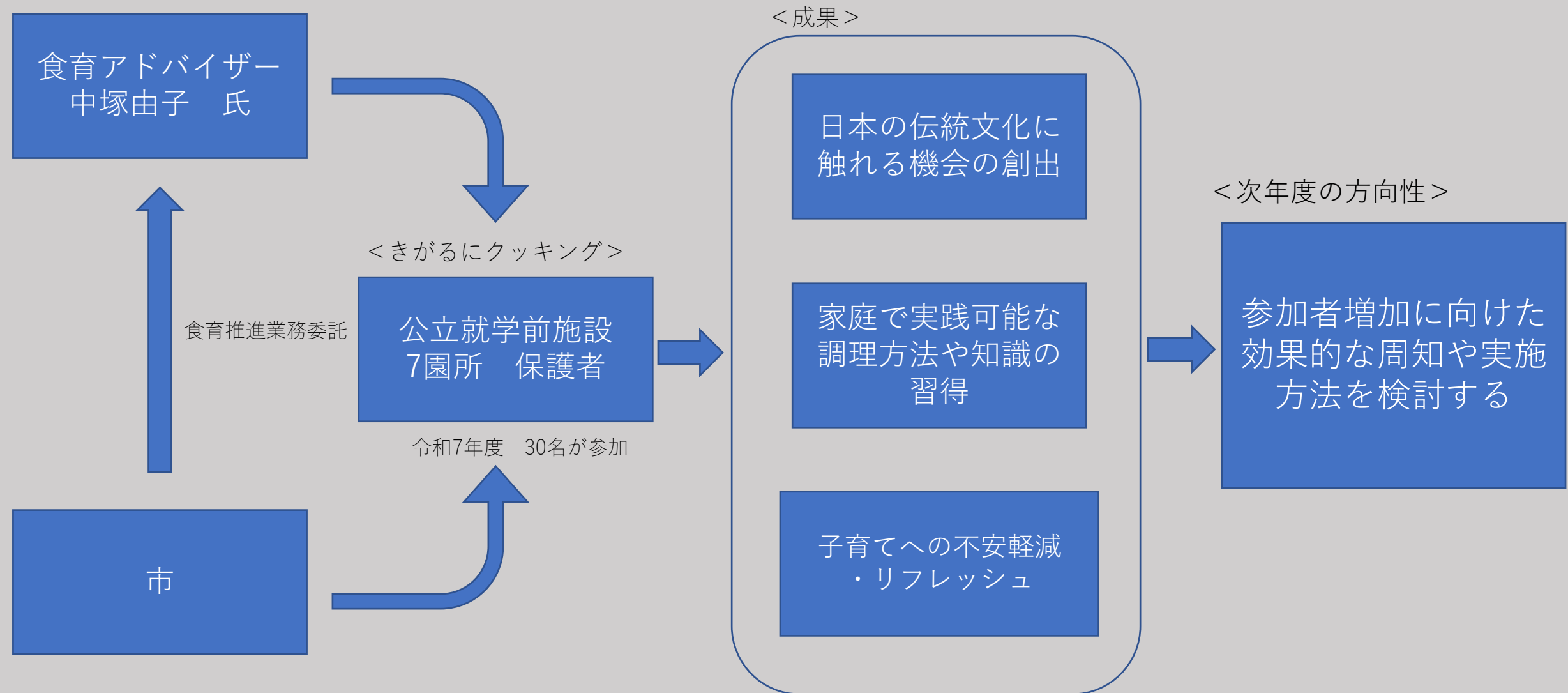
様式 2

取組①概要【にじいろクッキングの実施】：食育アドバイザー中塚由子氏指導のもと、公立就学前施設の5歳児が五感を使いながら出汁をとるところから調理までを自ら行い、給食を作り上げる取り組み。



様式 2

取組②概要【きがるにクッキングの実施】：食育アドバイザー中塚由子氏による、公立就学前施設の保護者を対象とした取り組み。和食や乾物の魅力や、家庭で取り入れやすい調理方法を伝えるとともに、保護者同士が子と離れて交流し、育児の悩みや日頃の思いを気軽に話せる場を提供する。



様式 2

取組③概要【給食用レシピの考案】：食育アドバイザー中塚由子氏考案のレシピを公立就学前施設の給食に取り入れ、腹持ちがよく栄養価の高いおやつや、出汁や乾物を活用した和食メニューを提供することで、日本の伝統文化に親しむ機会の創出と、こどもの健やかな成長を目指した取り組み。

